

昨年、12月12日に発表された2013年の今年の漢字は、「輪」でした。東京五輪決定や東北楽天ゴールデンイーグルスの日本一などの「日本中が輪になって歓喜にわいた年」、台風や竜巻、集中豪雨による洪水などの自然災害に対して支援が広がったことなどの「人とのつながりの輪を感じた一年」、東北復興のための継続支援の必要性や景気回復への取り組みなどの「未来に向けたさらなる輪」などがその選考理由となったようです。

さて、今年も新しい希望を胸に南国市で約370名の中学生が思い出深い学びやを卒業していきます。その一人一人が将来に大きな夢をもつての旅立ちだと思っていますのですが、昨年12月に報道された「本県高校中退率全国1位」という新聞記事に目が止まりました。文部科学省が発表した2012年度の問題行動調査で、高知県内の高校中退率（＊）は22％（全国平均15％）と全国で最も高い値でした。

中退理由としては、「もともと高校生活に熱意がない」が17・9％で最も多く、次いで「別の高校への入学を希望」が10・9％、「就職を希望」が8％などとなっています。2010年度の中退率は17％でしたが、2011年度、2012年度と、2年続けて22％にな

「支援の輪」

っています。

現在、高知県では、ニートや引きこもりを予防するための「若者の学びなおしと自立支援事業」を展開し、中学校卒業時及び高校中退時の進路未決定者に対して就学や就労に向けた支援を行っています。また、南国市も含め県内6カ所に若者サポートステーションが設置されています。

平成22年度国勢調査では、高知県内には15歳から39歳で約2700人近い若年無業者がいるとの統計が出ており、このことは社会全体が抱える将来への課題であると言えます。早期にサポートステーションなどと連携し、さまざまな支援を講じて新しい進路を開拓していく取り組みが必要ではないでしょうか。

中退を次へのステップととらえ、とにかくくじけることなく、さまざまな支援や人とのつながりの輪の中で、新しい希望に向かって歩んでもらいたいと思います。

＊全生徒に占める中退者の割合

※お問い合わせは

人権啓発広報委員会

（☎880・6569）まで